

# IASB/FASB MOU プロジェクトの マイルストーン目標

以下の表は、2010年6月24日に公表された米国財務会計基準審議会（FASB）と国際会計基準審議会（IASB）の「会計基準のコンバージェンス及び一組の高品質のグローバルな会計基準のコミットメントについての進捗報告」の

うち、付録に記載されている各プロジェクトの2010年5月末現在のマイルストーン目標を、企業会計基準委員会（ASBJ）スタッフが抜粋した上で仮訳を作成したものである。

## 連 結

連結についてのマイルストーン目標	
2010年第3四半期	FASBは、IASBの連結基準案を米国の利害関係者と議論する公開円卓会議を開催する予定である。
2010年第4四半期	IASBは、現行の米国会計基準にそろえるために、投資会社に関する連結規定変更案の公開草案を公表する予定である。FASBは、米国会計基準修正の公開草案を、必要に応じて、投資会社に関する完全にコンバージェンスされた基準を達成するために公表する。 IASBは、2010年末までに、連結の基準を確定し公表する予定である（structured entitiesに関する開示の改善を含む）。その基準は、structured entitiesに関する連結上の判断を、IFRS適用会社と米国会計基準適用会社とで同じにすることが期待されている。 FASBは、米国の利害関係者のインプットを検討し、IASBの公表される規定と整合的な公開草案（議決権持分企業に関する両者の基準間の差異を解消する）を進めるかどうかを決定する。
2011年第2四半期	両審議会は、投資会社の連結に関する改善されコンバージェンスされた基準を公表する予定である。

## 認識の中止

認識の中止についてのマイルストーン目標	
2010年第3四半期	IASBは、最近修正された米国会計基準の規定と同様の、2009年に公表した開示要求の改善を確定する。
2012年	FASBは、修正後の認識の中止の規定の実施後レビューを完了する。 両審議会は、一層の改善やコンバージェンスの取組みの内容及び範囲について決定する。

## デリバティブ及び他の金融商品の貸借対照表上の相殺

デリバティブ及び他の金融商品の貸借対照表上の相殺についてのマイルストーン目標	
2010年第4四半期	両審議会は、デリバティブ及び他の金融商品の貸借対照表上の相殺、及びこれに関連する開示について、コンバージェンスとなる規定の公開草案を公表する予定である。
2011年第1四半期	両審議会は、公開円卓会議の開催を予定している。
2011年第2四半期	両審議会は、本トピックに関する改善されたコンバージェンス基準を、金融商品基準の他の変更の確定と同時に公表する予定である。

## 金融商品

金融商品についてのマイルストーン目標	
2010年第3四半期	IASBは、ヘッジ会計に関する提案を公表する（従来は2010年第2四半期の予定）。
2010年第4四半期	FASBが利害関係者との公開円卓会議を開催し、IASBも参加する。
2011年第2四半期	両審議会は、受け取ったフィードバックの共同検討を完了し、新基準を確定し公表する予定である（従来は2011年第1四半期の予定）。

## 財務諸表の表示—その他の包括利益の表示

財務諸表の表示—その他の包括利益の表示についてのマイルストーン目標	
2010年第4四半期	IASBとFASBは、改善されたコンバージェンス基準の確定を目指す。

## 財務諸表の表示—主要プロジェクト

財務諸表の表示—主要プロジェクトについてのマイルストーン目標	
2010年第3四半期	IASBとFASBは、現在までの暫定決定を反映した基準案のスタッフ・ドラフトをウェブサイトに掲載する予定である（利害関係者との拡大されたアウトリーチ活動の基礎として）。
2010年第4四半期	両審議会とスタッフは、利害関係者との拡大されたアウトリーチ・プログラムを完了する。
2011年第1四半期	IASBとFASBは、包括的基準の公開草案を公表する予定である。
2011年第3四半期	両審議会は、公開円卓会議を開催する予定である。
2011年第4四半期	IASBとFASBは、改善されたコンバージェンス基準の確定を目指す。

## 財務諸表の表示—非継続事業

財務諸表の表示—主要プロジェクトについてのマイルストーン目標	
2011年第1四半期	FASBとIASBは、非継続事業のコンバージェンスされた定義と、関連する開示についての公開草案を公表する予定である。
2011年第4四半期	IASBとFASBは、改善されたコンバージェンス基準の確定を目指す。

## 資本の特徴を有する金融商品

資本の特徴を有する金融商品についてのマイルストーン目標	
2011年第1四半期	IASBとFASBは、資本に分類すべき金融商品と、資産又は負債に分類すべき金融商品との識別に関する公開草案の公表を予定している。
2011年第3四半期	両審議会は、公開円卓会議を開催する予定である。
2011年第4四半期	IASBとFASBは、改善されたコンバージェンス基準の確定を目指す。

## リース

リースについてのマイルストーン目標	
2010年第3四半期	IASBとFASBは、貸手及び借手の観点からのリースの会計処理を提案する公開草案を公表する。
2010年第4四半期	両審議会は、公開円卓会議を開催する予定である。
2011年第2四半期	IASBとFASBは、改善された共通の基準の公表を目指す。

## 公正価値測定

公正価値測定についてのマイルストーン目標	
2010年第2四半期	FASBは、IFRS案とのコンバージェンス達成のために、公正価値の定義と関連する適用ガイダンスの小幅な修正の公開草案を公表する予定である。IASBも、利害関係者の追加的インプットを得るために、開示に関する1つの事項を再公開する予定である。
2011年第1四半期	両審議会は、最終のコンバージェンス基準を公表する予定である。

## 収益認識

収益認識についてのマイルストーン目標	
2010年第2四半期	IASBとFASBは、それぞれの規定を改善しコンバージェンスを達成するための公開草案を公表する予定である。
2010年第4四半期	両審議会は、公開円卓会議を開催する予定である。
2011年第2四半期	IASBとFASBは、改善されたコンバージェンス基準の公表を目指す。

## その他のMOUプロジェクト

退職後給付	2010年4月に、IASBが公開草案を公表した。これは米国会計基準の最近の修正と同様に、退職後給付債務のオフバランス報告を認める規定を削除することにより、報告を改善するものである。コメント期限は2010年9月で、IASBは2011年第1四半期に改訂基準を公表する予定である。
-------	---

## その他の共同プロジェクト

保険契約	両審議会は、2009年に当プロジェクトでの共同の議論を開始し、現在のところ、いくつかの重要な技術的論点について異なった結論に至っている。IASBは、2010年第3四半期（7月）に公開草案を公表する予定である。見解の相違を考慮して、FASBは、7月に、IASBの提案に対する利害関係者のインプットを得るための最良の手段を決定する予定である（例えば、公開草案として公表するか又は何か別の方法）。
排出権取引	5月に、両審議会は他のMOUプロジェクトを優先することに合意した。両審議会は、現在、2011年後半に共同で公開草案を公表する予定で、2012年にコンバージェンス基準の公表を目指している。